

平成 24 年 9 月 6 日
運輸安全委員会事務局横浜事務所

台風による外国船の走錨衝突事故に関する情報提供について

標記事故について、下記の配布先へ情報提供を行いました。

配布先一覧

関東運輸局

中部運輸局

海上保安庁第三管区保安本部

神奈川県船舶代理店協会

東京湾水先区水先人会

外国船舶協会横浜支部長

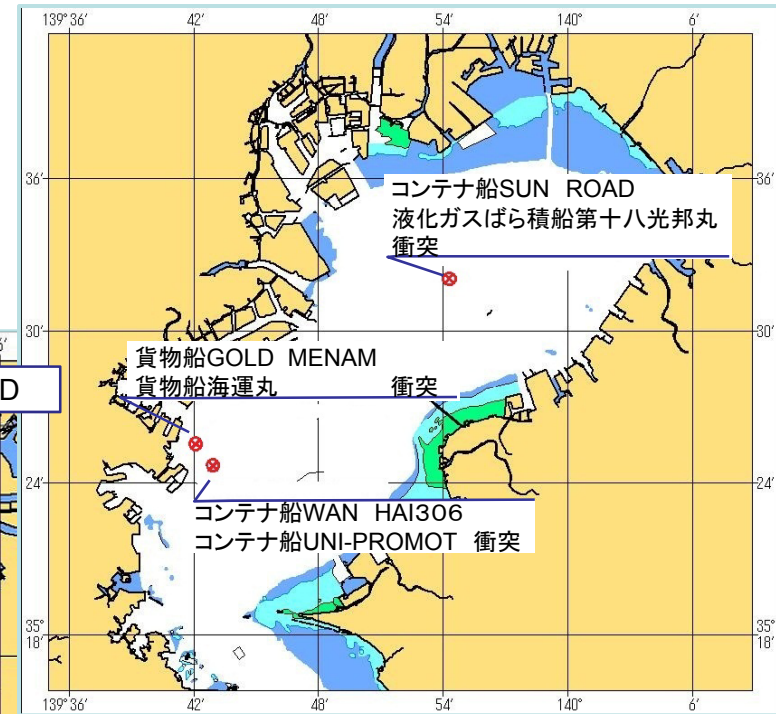
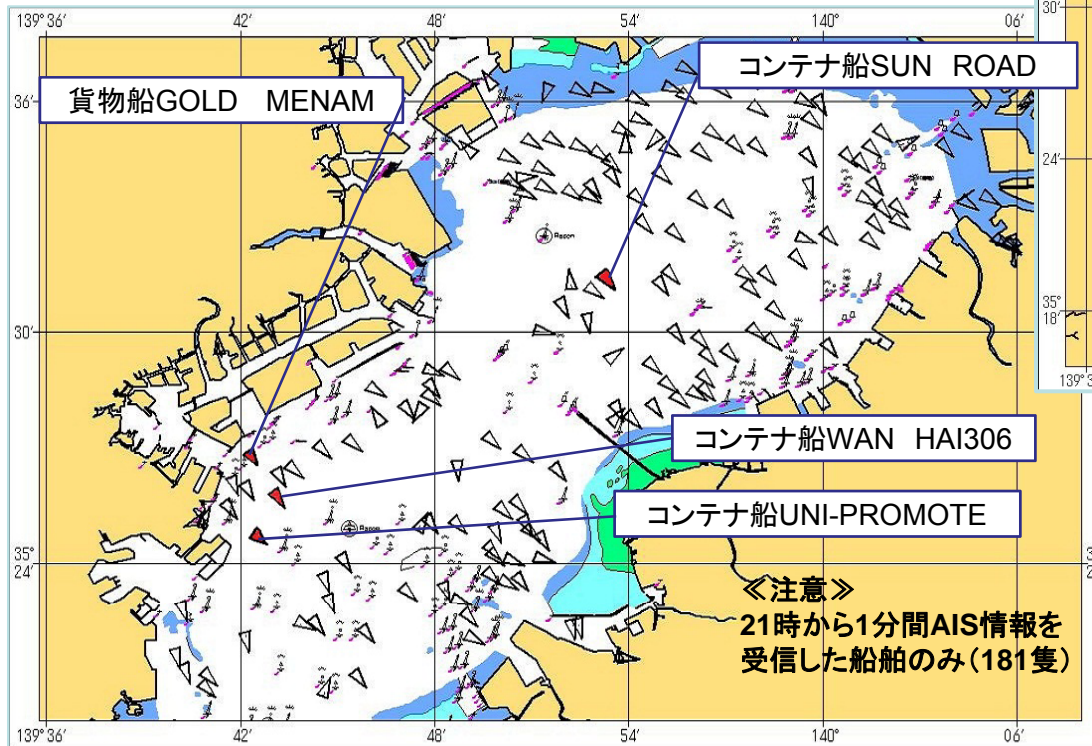
台風による外国船の 走錨衝突事故防止に向けて

平成24年9月6日

運輸安全委員会事務局横浜事務所

1.1 台風4号の影響による走錨衝突事故について

平成24年6月19日の夜から20日未明にかけて、台風4号の影響による強風と高波により、東京湾で走錨した大型外国船の関連した衝突事故が相次いで3件発生した。



平成24年6月19日の東京湾は、多くの日本船及び外国船が、台風4号の関東地方への接近に備えて避泊し、ふくそうした状態であった。

1.2 東京湾について

(1) 東京湾の特徴

- ・太平洋側の南に開いた湾であるため、台風や低気圧が日本海側を通るときに南寄りの強風が吹き、湾内に高波が生じやすい。

(2) 東京湾の台風接近時の情報提供と避難勧告

- ・東京湾海上交通センターから気象情報、錨泊船舶情報及び走錨注意報が適宜発信される。

(国際VHF 16ch、ラジオ周波数1,665kHz)

- ・台風接近に伴い船舶事故の発生が予想される場合、東京湾内各港において「台風対策委員会」が開催され、港内交通管制室等から放送等によって、又は、加盟代理店を経由して各船舶に避難勧告が周知される。

1.3 東京湾の気象状況について(平成24年6月19日18:00～6月20日5:30(30分毎))

日	時	東京湾					日	時	東京湾				
		東京13号地			本牧				東京13号地			本牧	
		気圧	風向	風速(m/s)	風向	風速(m/s)			気圧	風向	風速(m/s)	風向	風速(m/s)
6/19	18:00	1003	SSE	5	SSE	8	6/20	00:00	990	S	19	SSW	27
6/19	18:30	1002	SE	5	ESE	10	6/20	00:30	990	S	17	SSW	29
6/19	19:00	1000	ESE	6	ESE	13	6/20	01:00	991	S	16	SSW	17
6/19	19:30	999	ESE	7	ESE	14	6/20	01:30	993	SSW	16	S	21
6/19	20:00	997	ESE	9	SE	16	6/20	02:00	992	SSW	16	SSW	28
6/19	20:30	995	SE	8	SE	16	6/20	02:30	992	SSW	16	SW	23
6/19	21:00	994	SE	8	SE	19	6/20	03:00	994	SW	19	SW	19
6/19	21:30	993	SSE	10	SSE	19	6/20	03:30	994	SSW	14	SW	15
6/19	22:00	991	SSE	11	SSE	27	6/20	04:00	995	SSW	13	SW	10
6/19	22:30	990	SSE	11	SSE	26	6/20	04:30	995	SSW	11	SW	10
6/19	23:00	988	SSE	17	S	29	6/20	05:00	996	SSW	11	SSW	13
6/19	23:30	990	SSE	16	SSW	24	6/20	05:30	996	SSW	10	SW	11

2.1 貨物船GOLD MENAM 貨物船海運丸衝突事故(調査中)

- (1) 事故発生日時 : 平成24年6月19日(火)22時23分ごろ
- (2) 事故発生場所 : 京浜港横浜区第3区(北緯35° 26.8' 東経139° 42.3')
- (3) 損傷状況 : 左舷船尾部外板に破口(GOLD MENAM)
船首部に凹損、左舷錨及び左舷錨鎖5.5節喪失(海運丸)
- (4) 気象情報 : 天気 雨、風向 南南東、風力 7、視界 良好
海象情報 : 波高 約4m、潮汐 下げ潮の末期
- (5) 事故の概要

GOLD MENAM(以下「G号」という。)は船長ほか19人が乗り組み、空倉で船首約2.84m、船尾約5.00mの喫水により、京浜港横浜区Y1錨地内において錨泊をしていたが、他船との距離をとるため平成24年6月19日12時57分ごろ水深約20m(底質泥)の所へ移動し、右舷錨を投下して錨鎖7節で錨泊を開始した。

21時05分ごろ、G号は風勢が増したので機関の用意をしていたところ、22時07分ごろ自船の走錨を認め、機関を使用しながら錨鎖4節まで揚錨したが、強風により圧流されて海運丸と衝突した。

海運丸は、船長ほか4人が乗り組み、ふすま約750tを積載し、船首約3.25m、船尾約4.30mの喫水で京浜港横浜区Y1錨地内で錨泊していたが、22時ごろG号が走錨しているのを認め、探照灯で注意喚起信号のつもりでG号に照射したが、G船と衝突した。

2.2 走錨した船舶の主要目

船種船名	貨物船GOLD MENAM
旗国	パナマ共和国
総トン数	9,999トン
L×B×D(m)	128.00×21.50×14.00
満載喫水	7.624m
船質	鋼
機関	ディーゼル機関
出力	5,295kW
船舶所有者	MI-DAS LINE S.A.
進水年月日	1996年6月28日



貨物船GOLD MENAM

3.1 コンテナ船SUN ROAD 液化ガスばら積船第十八光邦丸衝突事故(調査中)

- (1) 事故発生日時 : 平成24年6月19日(火)23時38分ごろ
- (2) 事故発生場所 : 千葉県千葉港外港沖(北緯 35° 32.9' 東経 139° 54.6')
- (3) 損傷状況 : 左舷船尾外板に凹損及び擦過傷(SUN ROAD)
船橋甲板左舷ブルワーク及びウイング等に損傷(第十八光邦丸)
- (4) 気象情報 : 天気 雨、風向 南南西、風力 11~12、視程 約0.3~0.4海里
海象情報 : 波高 約3m、潮汐 上げ潮の初期
- (5) 事故の概要

SUN ROAD(以下「S号」という。)は船長ほか18人が乗り組み、コンテナ約24,700tを積載し、平成24年6月19日19時18分ごろ千葉港外港沖の水深約21m(底質泥)の場所において、左舷錨鎖を9節伸出して錨泊を開始した。

S号は、22時53分ごろから、船首を南東に向けて北東方向へ走錨し、S号の左舷船尾部と第十八光邦丸の左舷船尾付近とが衝突した。

第十八光邦丸は、船長ほか7人が乗り組み、LPG約815tを積載し、船首約3.35m、船尾約4.40mの喫水で千葉港外港沖において機関を始動させて錨泊中、レーダーで本船に接近するS号を認め、機関を全速前進として舵を左右一杯に取って避けようとしたがS号と衝突した。

3.2 走錨した船舶の主要目

船種船名	コンテナ船SUN ROAD
旗国	フィリピン共和国
総トン数	53,359トン
L×B×D(m)	294.03×32.22×21.25
満載喫水	12.60m
船質	鋼
機関	ディーゼル機関
出力	34,421.4kW
船舶所有者	SHINBANALI SHIPPING INC.
進水年月日	1992年12月9日



コンテナ船SUN ROAD

4.1 コンテナ船WAN HAI306 コンテナ船UNI-PROMOTE衝突事故(調査中)

- (1) 事故発生日時 : 平成24年6月20日(水)01時14分ごろ
- (2) 事故発生場所 : 京浜港横浜区第5区(北緯 35° 25.8' 東経 139° 43.3')
- (3) 損傷状況 : 左舷後部外板に凹損(WAN HAI306)
: 船首ブルワークに凹損(UNI-PROMOTE)
- (4) 気象情報 : 天気 雨、風向 南南東、風力 10、視界 不良
海象情報 : 波高 約5m、潮汐 下げ潮の末期
- (5) 事故の概要

WAN HAI306(以下「W号」という。)は船長ほか18人が乗り組み、コンテナ約10,028tを積載し、船首約6.70m、船尾約8.90mの喫水により、平成24年6月19日18時12分ごろ、京浜港横浜区YL4錨地(北緯35° 25.6' 東経139° 43.3')の水深約37m(底質泥)の所に右舷錨を投下し、錨鎖8節を伸出して錨泊した。

UNI-PROMOTE(以下「U号」という。)は船長ほか19人が乗り組み、コンテナ約12,135tを積載し、船首約7.90m、船尾約8.10mの喫水により、16時30分ごろ、京浜港横浜区YL4錨地(北緯35° 25.4' 東経139° 42.8')の水深約32m(底質泥)の所に右舷錨を投下し、錨鎖9節を伸出して錨泊した。

22時30分ごろ、U号は走錨しだしたので揚錨し、23時54分ごろと翌20日00時24分ごろに錨泊を試みたが再び走錨した。

W号も22時30分ごろ、走錨しだしたため、機関を使用して走錨防止を図っており、翌20日01時00分ごろ、もとの錨泊位置より約300m北東で停留していた。

U号は01時ごろ、W号の前方至近(北緯35° 25.7' 東経139° 43.2')で右舷錨を投下し、錨鎖を9節伸出して錨泊したが、W号に近すぎたため、転錨しようとして揚錨を開始したところ、強風により圧流され、W号と衝突した。

4.2 走錨した船舶の主要目



コンテナ船WAN HAI306

船種船名	コンテナ船WAN HAI306
旗国	シンガポール共和国
総トン数	25, 836トン
L×B×D(m)	196.72×30.20×16.60
満載喫水	11.5m
船質	鋼
機関	ディーゼル機関
出力	23, 241 kW
船舶所有者	WAN HAI LINES (SINGAPORE) PTELTD
進水年月日	2002年6月26日



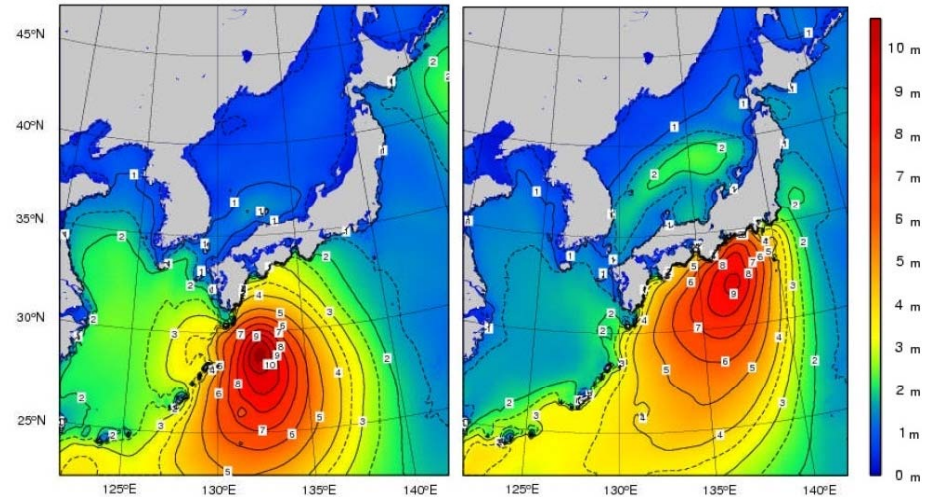
コンテナ船UNI-PROMOTE

船種船名	コンテナ船UNI-PROMOTE
旗国	台湾
総トン数	17, 887トン
L×B×D(m)	181.76×28.00×13.90
満載喫水	9.0m
船質	鋼
機関	ディーゼル機関
出力	10, 914 kW
船舶所有者	EVERGREEN SHIPPING CORPORATION (TAIWAN) LTD
進水年月日	2000年10月2日

5.1 台風4号について



6月19日09時 沿岸波浪図 6月19日21時 *波の高さは有義波高



平成24年6月12日カロリン諸島付近で発生した台風4号は、沖縄県近海を加速しながら北上し、平成24年6月19日に和歌山県南部に上陸後、北東へ毎時約55kmで本州を横断し、各地に土砂崩れ、交通障害、停電等の被害をもたらした。6月に上陸した台風は8年ぶり。

海上では19日から20日は東海地方や関東地方で波高6mを超える大しけとなった。

5.2 台風4号に関する発表

- ・6月18日16時30分 気象情報では台風4号は沖縄県の南海上を北東進し、19日から20日にかけて西・東日本に上陸し、本州を横断する恐れあり。大雨、暴風、高波に厳重な警戒が必要
- ・6月19日16時12分 横浜地方気象台が暴風警報及び波浪警報を発表
- ・6月19日16時15分 京浜港長が京浜港付近の錨泊中の船舶に対し、走錨注意情報を発表
- ・6月19日17時ごろ 台風4号が和歌山県に上陸。時速約60km/hで北東進
中心気圧965hpa 最大風速35m/s
- ・6月19日18時30分 千葉海上保安部長が千葉港、木更津港及び館山湾並びに同周辺海域に錨泊中の船舶に対し、走錨注意情報を発表
- ・6月19日20時25分 気象庁が関東海域北部に海上暴風警報及び海上濃霧警報を発表

6. 再発防止策について

- ✓最新の気象、海象情報を入手し、風向、水深、底質、波浪の発生状況、風下の距離等を考慮して錨地を選択する。

- ✓自船の限界係駐力と限界風速を計算し、限界風速に近い風が予想される場合の措置を検討しておく。

- ✓喫水を深くし、できれば船首トリムとして振れ回り運動を抑える一方、錨鎖を十分に伸ばして係駐力を確保し、状況に応じた錨泊法を選択する。

- ✓錨泊中における主機等は、転錨等に備えてスタンバイの状態にしておく。

- ✓自船及び他船の走錨を早期に発見できるよう船位の確認及び見張りを励行する。

- ✓常時、VHFの聴取して情報収集を行う。

- ✓自船の走錨を知った場合、直ちに転錨等の措置を講じる。

- ✓他船の走錨を知った場合、VHFで注意を喚起するとともに、転錨等の措置を促す。